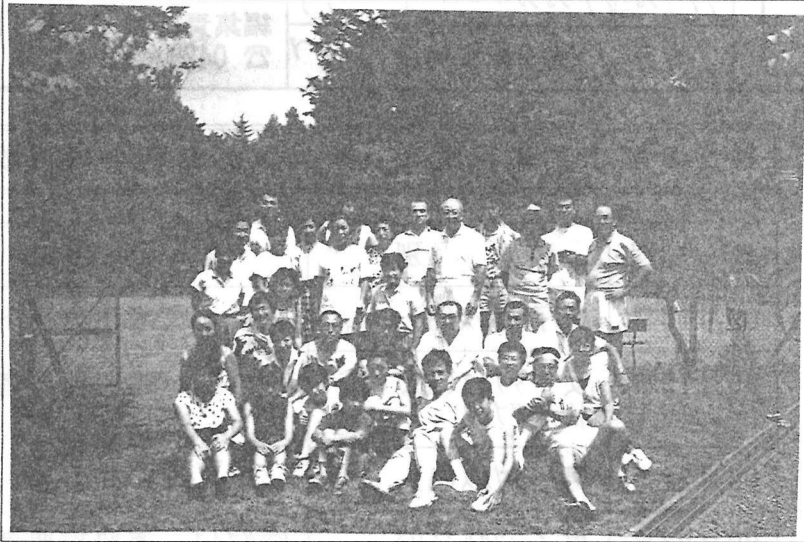


夏合宿報告 No. 1

萩山・青葉合同合宿だより



市民テの夏合宿の第1弾“萩山・青葉合同合宿”風景環境 40名を超える参加者・忍野のすばらしいテニス環境 それと好天候とくれば、舞台は充実・昼夜にわたり盛り上がった様子は、皆さんの表情をみれば一目瞭然！

詳しい報告は、別途致しますとのお言葉（鶴丸氏）

わたしとテニス

萩山クラブ 田中まゆみ

4年前、私と弟は母とともに市民テニスクラブに入会しました。金網ごしにコートを見ると多勢で楽しそうにしかもとても上手にラリーが続いていたので、私なんて「だめだ」と感じてしまいました。

扉を開けて中に入り、名前を書いて順番を待ち一言「お願いします」と言えはいいのに、初めのうちはどうしても仲間に入って行けず、帰ってきては何度も母をがっかりさせていました。

ある日私と弟は、母に初心者・初級者のためのスクールに入れられたのです。

たいていは母や弟と一緒にしたから心強く、回を重ねるたびに話の出来る友達や先輩が増え、毎回のスクールが楽しくなっていきました。私などとても打って下さらないと思っていたコーチの方々もとても親切に教えて下さるので毎回感激でした。

それからは早く上手になって金網の向こうの皆さんと一緒にプレーする日を目指し、時には母まで誘って早朝練習、ナイター練習の日も出席して頑張りました。今では多勢の人と知り合っているので、これをメモし、自分だけのテニスノートを作り練習に行く前に読むことにしています。



試合をするのも楽しくなり皆さんの親切なご指導でテニスの楽しさを知ることが出来る嬉しく思っています。

スクールが終わったあと、少し練習と試合をした母を誘って『朝日屋』へ行き、昼食をすするの楽しみも一つになり、日曜日が待ち遠しくスクールには休まず出席するよう心掛けています。

でも、あまり頑張らずに『テニスエルボー』になってしまし、ただいま通院・治療中です。楽しみにしていた夏の合宿も参加できず残念でしたが、涼しくなったら少しずつ始めたいと思っていますので皆さんどうぞよろしくご指導下さい。

テニスと私

～イギリスでテニス'90～

美住クラブ 竹内幸子

いくら日本の国技が相撲でも国民がこぞって土俵に立たないように、イギリスでもウィンブルドンがあるからといって、誰もかれもラケットを握っている訳ではない。（イギリスで最も人気のスポーツはサッカー）

ゆえに、ステイ先でテニスの相手を探すのは一苦労だった。昼間働いていない人で、テニスのできる人という、かなり限定されてしまう。「イギリスでテニス」ってのは無理か、とあきらめていたところへ、パートナーが見つかったという話。相手はなんと、ステイ先の隣に住んでいるおばさん。（といったら失礼かも）。聞けば彼女は、テニスクラブのコーチをしており、試合の戦績もなかなかのものらしい。そんなすごい人を連れてこいと言った覚えはないのだが、この際そんなことはどうでもいい、ということでいざ出陣。

その彼女は一見普通なのだけれど、よく見ると筋肉が張っていて鍛えていることが容易にわかる。身長も高い。ラリーを試してみるが、球威があり非常に重い。少したって、「ゲームをしてみましょう」と言われる。シングルスなんて、ほとんどやったこともない上、彼女のサーブを受けたら右腕どころか体ごと吹っこんで病院行き間違いなしだ。そりゃあイギリスでいろんな体験してみたいとは思ってたけど『入院生活』なんて、リストの中に入れてなかったよね、と思いつつ、おそろおそろエンドラインに立つ。

「ほとんど初心者だからね」とさんざん念を押しつけたせいか、スコアはひどかったが、一応、試合の型はついた。一通り終わって、彼女は良かったところと直すべき点を、まるで面識のない、もう会うこともないかもしれない私に、こと細かに説明してくれた。

そして今年。2年前よりは少し上達してると思うんだけど、あの彼女は、また私とテニスしてくれるかしら。



田中さん・竹内さん原稿をお寄せ戴きましてありがとうございます。

会員の声や活躍の報告等・出来るだけ掲載していくことが『ガット』の使命です。投稿をどしどし★広報部★

編集後記

“スポーツマンシップ”/sportsmanship とは何かと甲子園の5連続敬遠で話題になりましたが、『正々堂々と公明に勝負を争うこと』とあります。自分と競争相手を尊重し、勝つためには手段を選ばず式のルール無視or軽視を排除すること。自らに不利な判定にも前記のと通りの立場を堅持します。

秋の大会が始まります。fairplayこそ『市民テ』